

(2) 今期の景況と来期の見通し

製 造 業

業況・売上額・受注残・収益

製造業の主要指標をみると、業況は $\Delta 2.7$ で前期比 3.4 ポイント減と悪化に転じた。売上額は 0.3 で 1.9 ポイント減とやや後退し、受注残は $\Delta 5.0$ で 8.1 ポイント減と増加から減少に転じ、収益は $\Delta 3.6$ で 3.4 ポイント増とわずかに減益幅が縮小した。来期の見通しについては、業況は低調感が大きく強まり、売上額は増加から減少に転じ、受注残、収益はともにやや減少・減益幅が拡大する見込み。

業種別でみると、業況は「金属製品・建設用金属製品」は大きく好調感が強まり、「一般機械器具・金型」は前期同様の厳しさが続き、「電気機械器具」は若干低調感が強まった。売上額は、「金属製品・建設用金属製品」は極端に増加幅が拡大し、「電気機械器具」は増加から減少に転じ、「一般機械器具・金型」はかなり改善した。受注残は、「金属製品・建設用金属製品」は極端に増加幅が拡大し、「電気機械器具」は増加から減少に転じ、「一般機械器具・金型」は減少幅が特に大きく縮小した。収益は、「金属製品・建設用金属製品」は極端に増加幅が拡大し、「電気機械器具」は増加から減益に転じ、「一般機械器具・金型」は減益幅が特に大きく縮小した。

価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は 23.2 で 4.5 ポイント増とやや上昇傾向が強まり、原材料価格は 49.4 で 1.3 ポイント増と前期並の上昇が続き、在庫は 5.3 で 0.8 ポイント増と前期同様の過剰感が続いた。来期の見通しについては、販売価格、原材料価格はともに上昇傾向が大きく弱まり、在庫は過剰から適正水準となる見通し。

業種別でみると、販売価格は、「金属製品・建設用金属製品」は大幅に上昇傾向が強まり、「電気機械器具」はかなり上昇幅が縮小し、「一般機械器具・金型」は下降が大きく弱まった。原材料価格は、「金属製品・建設用金属製品」、「一般機械器具・金型」はともに大幅に上昇傾向が強まり、「電気機械器具」はかなり上昇幅が縮小した。在庫は、「金属製品・建設用金属製品」は幾分過剰感が強まり、「一般機械器具・金型」は適正範囲に保たれ、「電気機械器具」は適正水準から不足となった。

資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは $\Delta 15.2$ で 3.4 ポイント減と多少窮屈感が強まった。借入難易度は $\Delta 7.0$ で 0.3 ポイント減と前期同様の厳しさが続き、借入をした企業は 17.9%で 7.2 ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は 12.5%で 3.6 ポイント増加した。来期の見通しについて、資金繰りは窮屈感がやや緩和し、借入をする企業は大きく減少し、設備投資を実施する企業は若干増加する見込み。

業種別でみると、資金繰りは、「電気機械器具」は前期並の苦しさとなり、「金属製品・建設用金属製品」はやや厳しさが増し、「一般機械器具・金型」は大きく窮屈感が強まった。借入難易度は、「金属製品・建設用金属製品」は非常に容易さが増し、「電気機械器具」は前期同様となり、「一般機械器具・金型」は極端に厳しさが強まった。今期借入をした企業は、「金属製品・建設用金属製品」は極端に増加し、「一般機械器具・金型」、「電気機械器具」はともに前期並となった。設備投資を実施した企業は、「金属製品・建設用金属製品」は前期並となり、「一般機械器具・金型」はやや減少し、「電気機械器具」は大幅に減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、1位は「原材料高」で51.8%となった。次いで2位は「売上の停滞・減少」で42.9%、3位は「利幅の縮小」で23.2%となった。以下、4位は「人手不足」で17.9%、5位は「仕入先からの値上げ要請」で12.5%となった。

重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で51.8%となった。次いで2位は「販路を広げる」で48.2%、3位は「機械化を推進する」「情報力を強化する」でともに14.3%となった。以下、4位は「人材を確保する」で10.7%、5位は「提携先を見つける」で7.1%となった。

業種別動向

(1) 金属製品、建設用金属製品

業況は20.8で前期比8.3ポイント増と大きく好調感が強まった。売上額は35.9で21.0ポイント増、受注残は42.0で19.9ポイント増、収益は35.7で24.0ポイント増といずれも極端に増加幅が拡大した。今期の「金属製品、建設用金属製品」は、業況、売上額、受注残、収益はいずれも改善した。価格動向については、販売価格は50.9で18.6ポイント増、原材料価格は56.6で14.7ポイント増とともに大幅に上昇傾向が強まった。在庫は7.7で1.7ポイント増と幾分過剰感が強まった。資金繰りは△11.1で3.0ポイント減とやや厳しさが増し、借入難易度は22.2で22.2ポイント増と非常に容易さが増した。借入をした企業は60.0%で41.8ポイント増加し、設備投資動向については、設備投資を実施した企業は10.0%で0.9ポイント増加した。

来期の見通しについては、業況は好調感が大きく後退する見込み。売上額は増加幅がかなり縮小し、受注残、収益はともに増加幅が極端に縮小する見通し。価格動向については、販売価格は上昇から下降に転じ、原材料価格は上昇傾向が極端に弱まるとみられる。在庫は過剰感がやや強まり、資金繰りは窮屈感が大幅に緩和し、設備投資を実施する企業は今期並となる見込み。

経営上の問題点については、1位は「原材料高」で60.0%、2位は「利幅の縮小」「人手不足」でともに40.0%、3位は「売上の停滞・減少」で30.0%となった。重点経営施策については、1位は「販路を広げる」で50.0%、2位は「経費を節減する」で40.0%、3位は「人材を確保する」で30.0%となった。

(2) 一般機械器具、金型

業況は△9.8で前期比1.4ポイント減と前期同様の厳しさが続いた。受注残は△4.6で29.8ポイント増、収益は△0.9で40.1ポイント増とともに減少・減益幅が特に大きく縮小し、売上額は△8.1で9.3ポイント増とかなり改善した。今期の「一般機械器具、金型」は、業況は前期並、売上額、受注残、収益はいずれも改善した。価格動向については、販売価格は△4.9で15.3ポイント増と下降が大きく弱まり、原材料価格は44.0で7.5ポイント増と大幅に上昇傾向が強まった。在庫は2.2で3.8ポイント増と適正範囲に保たれた。資金繰りは△32.5で11.8ポイント減と大きく窮屈感が強まり、借入難易度は△25.0で25.0ポイント減と極端に厳しさが強まった。借入をした企業は0.0%で前期並となり、設備投資動向については、設備投資を実施した企業は16.7%で3.3ポイント減少した。

来期の見通しについては、業況は今期並の悪化幅で推移する見込み。売上額、収益はともに減少・減益幅がやや拡大し、受注残は減少幅が大きく拡大する見通し。販売価格は下降傾向が大幅に強まり、原材料価格は上昇がかなり弱まるとみられる。在庫は適正範囲に保たれ、資金繰りは今期並の苦しさが続き、設備投資を実施する企業は大きく減少する見込み。

経営上の問題点については、1位は「原材料高」「仕入先からの値上げ要請」でともに50.0%、2位は「人手不足」で33.3%、3位は「売上の停滞・減少」「利幅の縮小」「人件費の増加」「工場・機械の狭小・老朽化」「為替レートの変動」でいずれも16.7%となった。重点経営施策については、1位は「経費を節減する」で50.0%、2位は「情報力を強化する」で33.3%、3位は「販路を広げる」「新製品・技術を開発する」「機械化を推進する」「人材を確保する」「教育訓練を強化する」「工場・機械を増設・移転する」でいずれも16.7%となった。

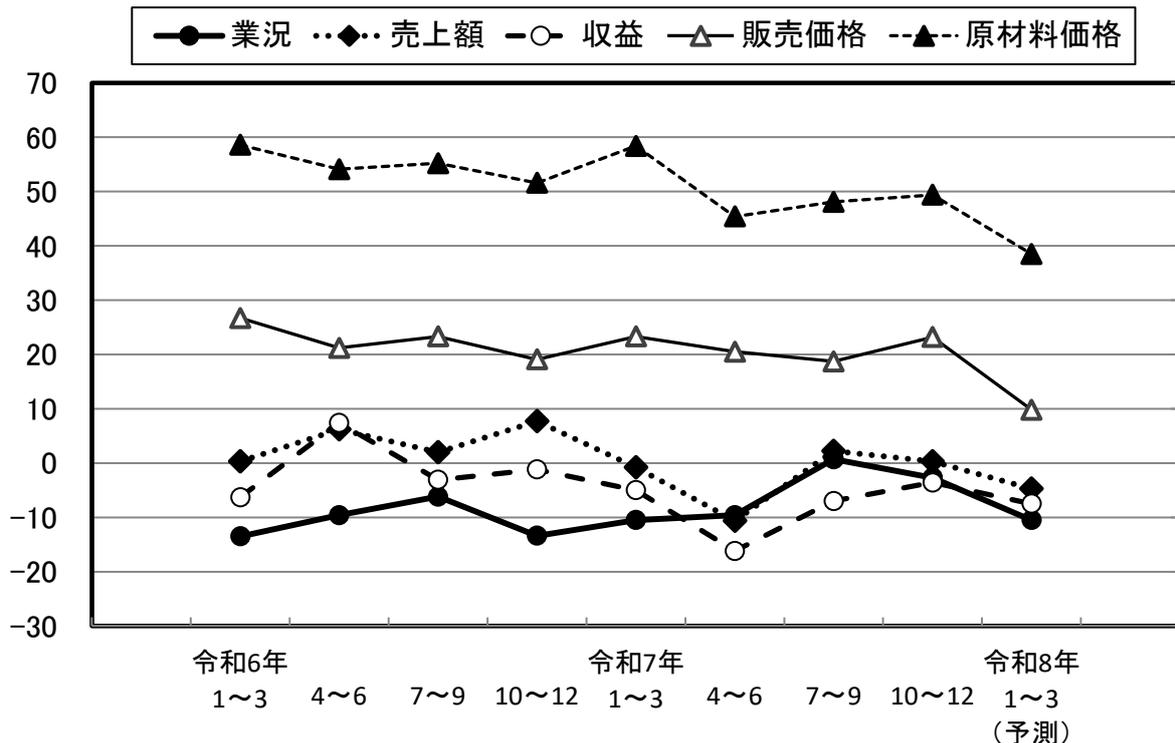
(3)電気機械器具

業況は△15.6で前期比5.0ポイント減と若干低調感が強まった。売上額は△11.6で16.8ポイント減、受注残は△11.8で15.9ポイント減、収益は△7.4で11.9ポイント減といずれも増加から減少・減益に転じた。今期の「電気機械器具」は、業況、売上額、受注残、収益はいずれも悪化した。価格動向については、販売価格は14.0で12.7ポイント減、原材料価格は53.1で17.6ポイント減とともにならかなり上昇幅が縮小した。在庫は△5.3で3.3ポイント減と適正水準から不足となった。資金繰りは△10.9で1.2ポイント減と前期並の苦しさとなり、借入難易度は0.0で前期同様となった。借入をした企業は0.0%で前期並となり、設備投資動向については、設備投資を実施した企業は14.3%で14.3ポイント減少した。

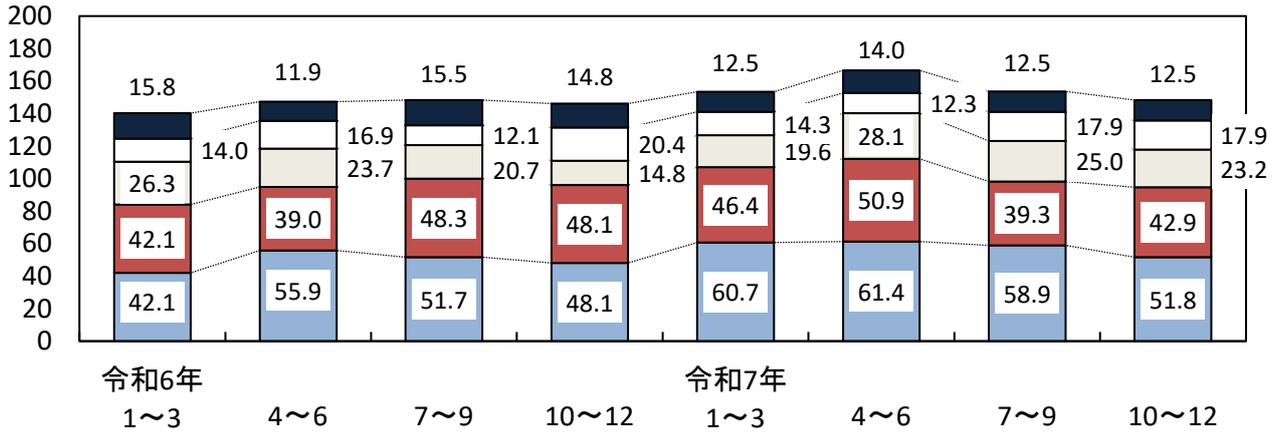
来期の見通しについては、業況は今期同様の厳しさが続く見込み。売上額、収益はともに減少・減益幅が大きく拡大し、受注残は減少がやや強まる見通し。販売価格は上昇から下降に転じ、原材料価格は上昇傾向が若干弱まるとみられる。在庫は不足から適正水準となり、資金繰りは容易となり、設備投資を実施する企業は今期並となる見込み。

経営上の問題点については、1位は「原材料高」で71.4%、2位は「売上の停滞・減少」「人手不足」でともに28.6%、3位は「大手企業との競争の激化」「同業者間の競争の激化」「親企業による選別の強化」「利幅の縮小」「仕入先からの値上げ要請」「人件費の増加」でいずれも14.3%となった。重点経営施策については、1位は「販路を広げる」「経費を節減する」でともに57.1%、2位は「機械化を推進する」「人材を確保する」「労働条件を改善する」でいずれも14.3%となった。

業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測



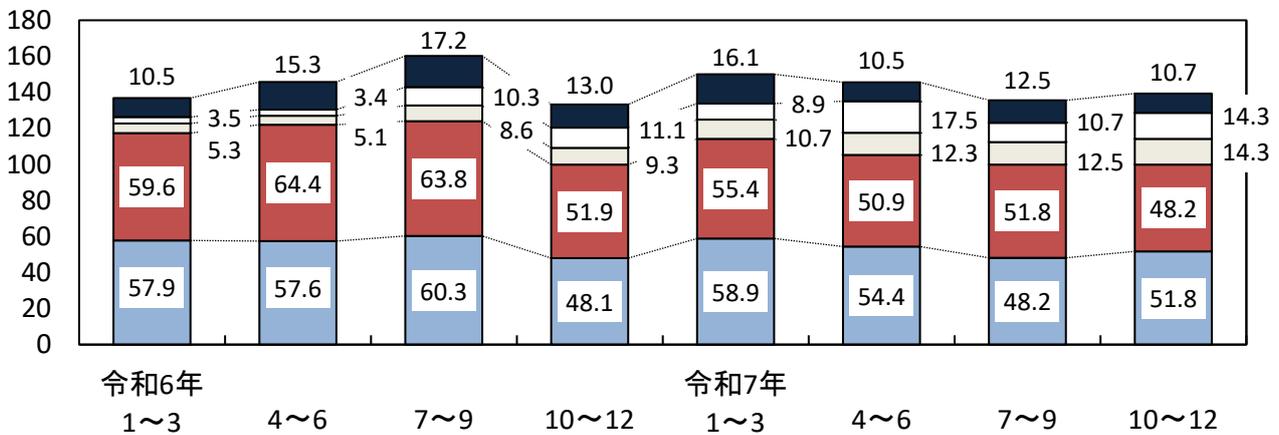
製造業 経営上の問題点（％）



■ 原材料高
 ■ 売上の停滞・減少
 ■ 利幅の縮小
 ■ 人手不足
 ■ 仕入先からの値上げ要請

	令和7年1月～3月期	令和7年4月～6月期	令和7年7月～9月期	令和7年10月～12月期
第1位	原材料高 60.7 %	原材料高 61.4 %	原材料高 58.9 %	原材料高 51.8 %
第2位	売上の停滞・減少 46.4 %	売上の停滞・減少 50.9 %	売上の停滞・減少 39.3 %	売上の停滞・減少 42.9 %
第3位	利幅の縮小 19.6 %	利幅の縮小 28.1 %	利幅の縮小 25.0 %	利幅の縮小 23.2 %
第4位	人手不足 14.3 %	仕入先からの値上げ要請 14.0 % 同業者間の競争の激化 14.0 %	人手不足 17.9 %	人手不足 17.9 %
第5位	仕入先からの値上げ要請 12.5 %	人手不足 12.3 % 人件費の増加 12.3 %	仕入先からの値上げ要請 12.5 %	仕入先からの値上げ要請 12.5 %

製造業 重点経営施策（％）



■ 経費を節減する
 ■ 販路を広げる
 ■ 機械化を推進する
 ■ 情報力を強化する
 ■ 人材を確保する

	令和7年1月～3月期	令和7年4月～6月期	令和7年7月～9月期	令和7年10月～12月期
第1位	経費を節減する 58.9 %	経費を節減する 54.4 %	販路を広げる 51.8 %	経費を節減する 51.8 %
第2位	販路を広げる 55.4 %	販路を広げる 50.9 %	経費を節減する 48.2 %	販路を広げる 48.2 %
第3位	人材を確保する 16.1 %	情報力を強化する 17.5 %	人材を確保する 12.5 %	機械化を推進する 14.3 %
			機械化を推進する 12.5 %	情報力を強化する 14.3 %
第4位	機械化を推進する 10.7 %	機械化を推進する 12.3 %	新製品・技術を開発する 10.7 %	人材を確保する 10.7 %
			情報力を強化する 10.7 %	
第5位	情報力を強化する 8.9 %	人材を確保する 10.5 %	教育訓練を強化する 3.6 %	提携先を見つける 7.1 %
		新製品・技術を開発する 10.5 %	工場・機械を増設・移転する 3.6 %	

卸 売 業

業況・売上額・収益

卸売業の主要指標をみると、業況は $\Delta 32.2$ で前期比 16.1 ポイント減と大きく低調感が強まった。売上額は $\Delta 1.3$ で 1.0 ポイント減と増減なく推移し、収益は $\Delta 5.0$ で 6.4 ポイント増とかなり減益幅が縮小した。来期の見通しについては、業況は厳しさが大きく和らぎ、売上額は増加に転じ、収益は今期同様で推移する見込み。

価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は 26.6 で 9.1 ポイント減と大きく上昇幅が縮小し、仕入価格は 63.5 で 13.2 ポイント増と大幅に上昇傾向が強まった。在庫は 8.4 で 6.8 ポイント増と適正水準から過剰となった。来期の見通しについては、販売価格はやや上昇が弱まり、仕入価格は上昇傾向がかなり弱まり、在庫は過剰感がわずかに強まる見込み。

資金繰り・借入金・設備投資動向

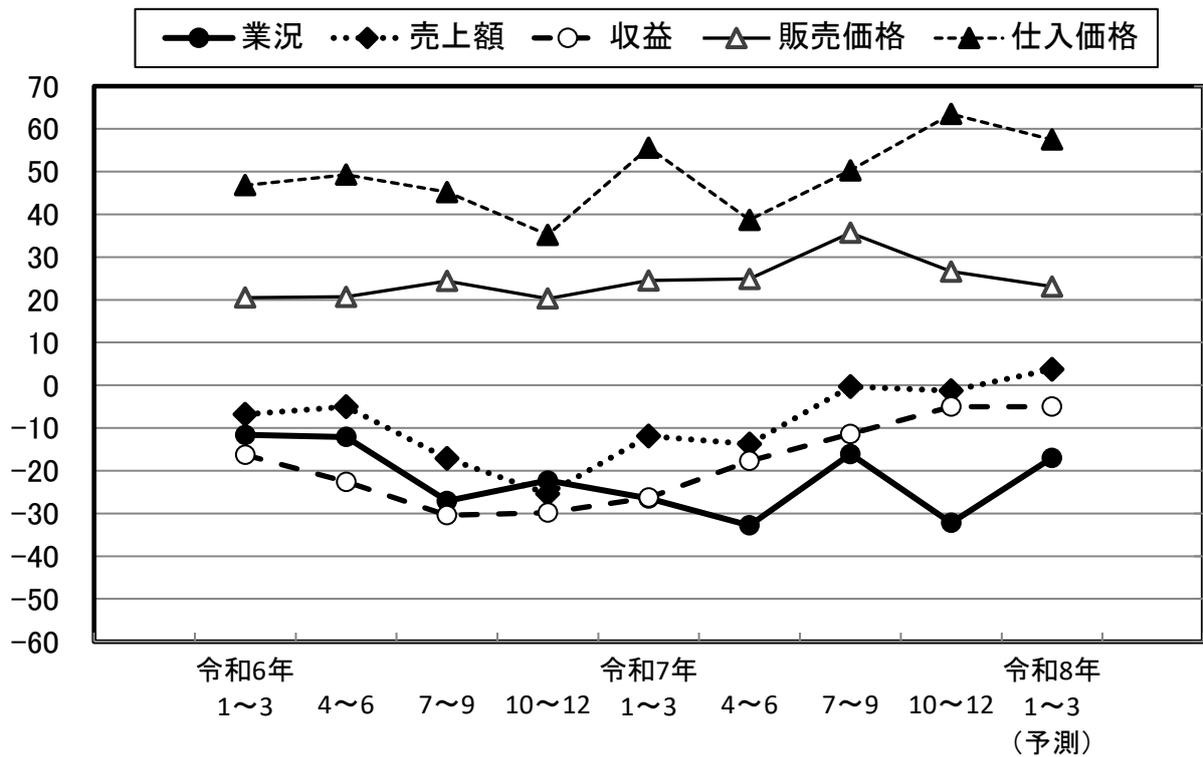
資金繰りは $\Delta 7.7$ で 8.9 ポイント増と大幅に改善し、借入難易度は $\Delta 23.1$ で増減なく推移した。借入をした企業は 31.3%で 7.8 ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は 18.8%で 4.7 ポイント減少した。来期の見通しについては、資金繰りは今期同様の厳しさで推移し、借入をする企業、設備投資を実施する企業はともに大きく減少する見込み。

経営上の問題点・重点経営施策

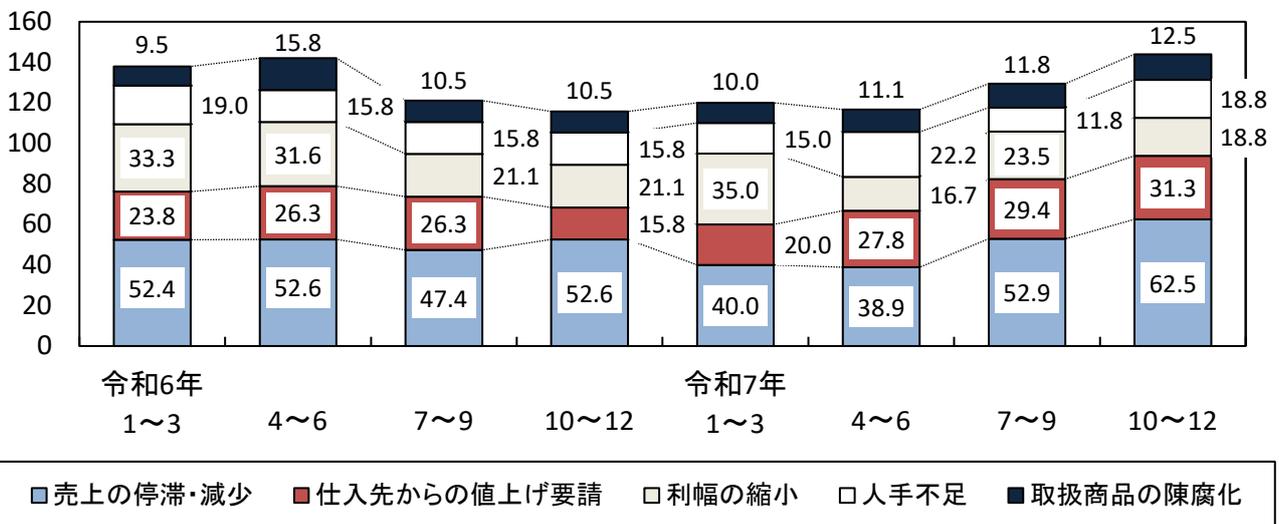
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」で 62.5%となった。次いで2位は「仕入先からの値上げ要請」で 31.3%、3位は「利幅の縮小」「人手不足」でともに 18.8%となった。以下、4位は「取扱商品の陳腐化」「同業者間の競争の激化」でともに 12.5%、5位は「小口注文・多頻度配送の増加」「販売納入先からの値下げ要請」「人件費の増加」「地場産業の衰退」「為替レートの変動」「大手企業・工場の縮小・撤退」でいずれも 6.3%となった。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」で 62.5%となった。次いで2位は「経費を節減する」で 56.3%、3位は「新しい事業を始める」で 25.0%となった。以下、4位は「提携先を見つける」で 12.5%、5位は「流通経路の見直しをする」「品揃えを充実する」「情報力を強化する」「人材を確保する」でいずれも 6.3%となった。

業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

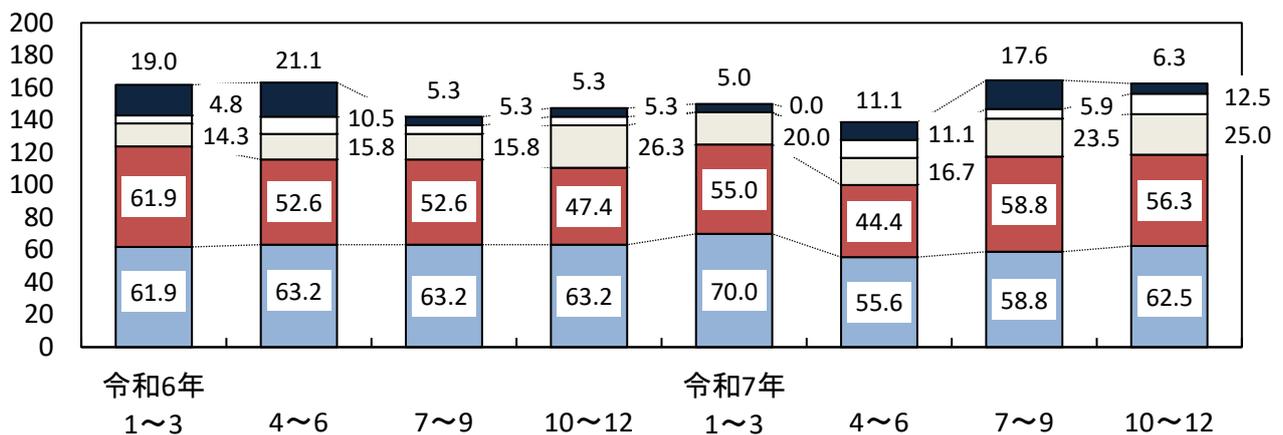


卸売業 経営上の問題点（%）



	令和7年1月～3月期	令和7年4月～6月期	令和7年7月～9月期	令和7年10月～12月期
第1位	売上の停滞・減少 40.0 %	売上の停滞・減少 38.9 %	売上の停滞・減少 52.9 %	売上の停滞・減少 62.5 %
第2位	利幅の縮小 35.0 %	仕入先からの値上げ要請 27.8 %	仕入先からの値上げ要請 29.4 %	仕入先からの値上げ要請 31.3 %
第3位	仕入先からの値上げ要請 20.0 %	同業者間の競争の激化 22.2 %	利幅の縮小 23.5 %	利幅の縮小 18.8 %
	同業者間の競争の激化 20.0 %	人手不足 22.2 %		人手不足 18.8 %
第4位	取引先の減少 15.0 %	利幅の縮小 16.7 %	大手企業・工場の縮小・撤退 11.8 %	取扱商品の陳腐化 12.5 %
	人手不足 15.0 %		人件費の増加 11.8 %	同業者間の競争の激化 12.5 %
			人手不足 11.8 %	
			同業者間の競争の激化 11.8 %	
第5位	取扱商品の陳腐化 10.0 %	小口注文・多頻度配送の増加 11.1 %	流通経路の変化による競争の激化 5.9 %	小口注文・多頻度配送の増加 6.3 %
	人件費の増加 10.0 %	取扱商品の陳腐化 11.1 %	小口注文・多頻度配送の増加 5.9 %	販売納入先からの値下げ要請 6.3 %
	為替レートの変動 10.0 %	取引先の減少 11.1 %	販売納入先からの値下げ要請 5.9 %	人件費の増加 6.3 %
			取引先の減少 5.9 %	地場産業の衰退 6.3 %
			為替レートの変動 5.9 %	為替レートの変動 6.3 %
				大手企業・工場の縮小・撤退 6.3 %

卸売業 重点経営施策（％）



■ 販路を広げる ■ 経費を節減する □ 新しい事業を始める □ 提携先を見つける ■ 流通経路の見直しをする

	令和7年1月～3月期	令和7年4月～6月期	令和7年7月～9月期	令和7年10月～12月期
第1位	販路を広げる 70.0 %	販路を広げる 55.6 %	経費を節減する 58.8 %	販路を広げる 62.5 %
第2位	経費を節減する 55.0 %	経費を節減する 44.4 %	新しい事業を始める 23.5 %	経費を節減する 56.3 %
第3位	新しい事業を始める 20.0 %	新しい事業を始める 16.7 %	流通経路の見直しをする 17.6 %	新しい事業を始める 25.0 %
第4位	流通経路の見直しをする 5.0 %	流通経路の見直しをする 11.1 %	取引先を支援する 5.9 %	提携先を見つける 12.5 %
	教育訓練を強化する 5.0 %	人材を確保する 11.1 %	品揃えを充実する 5.9 %	
	品揃えを充実する 5.0 %	品揃えを充実する 11.1 %	情報力を強化する 5.9 %	
	情報力を強化する 5.0 %	提携先を見つける 11.1 %	提携先を見つける 5.9 %	
	人材を確保する 5.0 %		教育訓練を強化する 5.9 %	
	パート化を図る 5.0 %			
第5位		情報力を強化する 5.6 %		流通経路の見直しをする 6.3 %
		パート化を図る 5.6 %		品揃えを充実する 6.3 %
		教育訓練を強化する 5.6 %		情報力を強化する 6.3 %
		不動産の有効活用を図る 5.6 %		人材を確保する 6.3 %

小 売 業

業況・売上額・収益

小売業の主要指標をみると、業況は△19.5で前期比1.3ポイント減と前期同様の厳しさが続いた。売上額は△7.2で0.8ポイント増と前期並の減少が続き、収益は△19.2で6.3ポイント増と大きく減益幅が縮小した。来期の見通しについては、業況は厳しさが若干和らぎ、売上額は大幅に減少を強め、収益は減益幅がやや拡大する見込み。

価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は38.4で6.0ポイント増と大きく上昇傾向が強まり、仕入価格は47.4で2.7ポイント減とやや上昇が弱まった。在庫は△11.2で4.6ポイント減とわずかに不足感が強まった。来期の見通しについては、販売価格、仕入価格はともに今期並の上昇が続き、在庫は不足感が多少改善する見込み。

資金繰り・借入金・設備投資動向

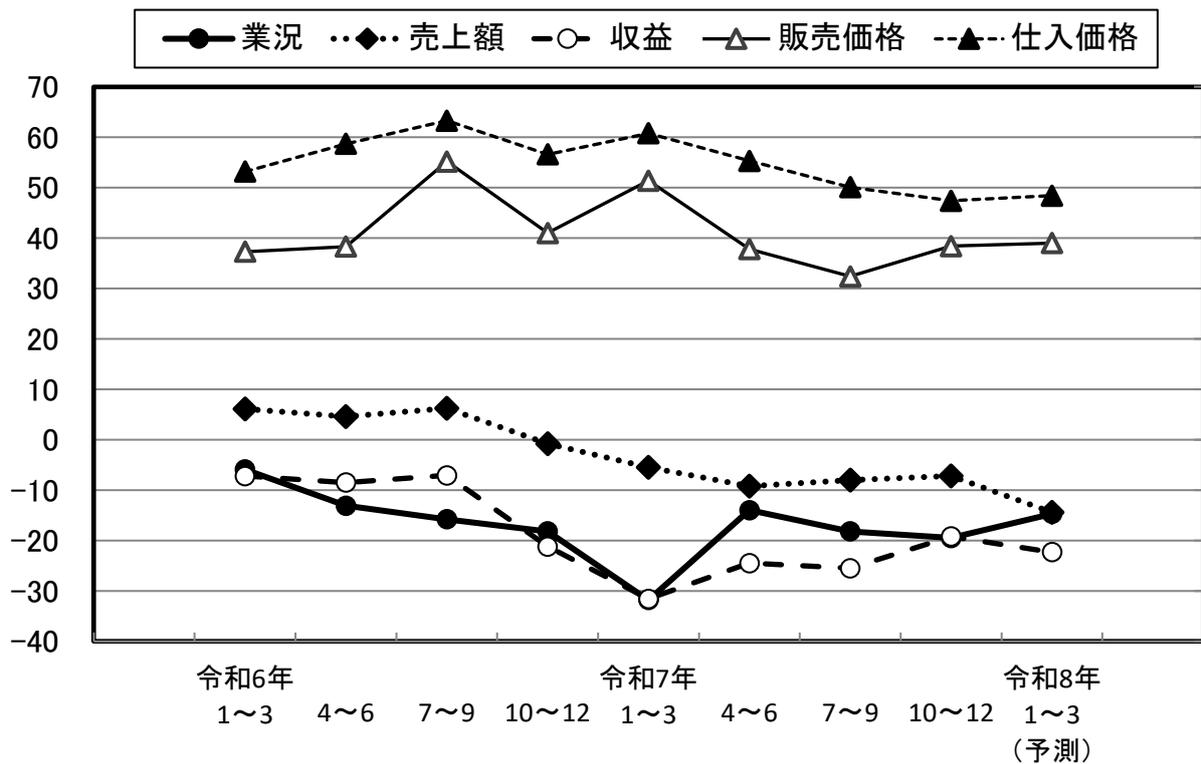
資金繰りは△16.4で3.3ポイント増とやや窮屈感が緩和した。借入難易度は9.5で4.0ポイント増と幾分容易さが増し、借入をした企業は25.0%で3.6ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は7.1%で3.5ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りは窮屈感が若干強まり、借入をする企業、設備投資を実施する企業はともに大きく減少する見込み。

経営上の問題点・重点経営施策

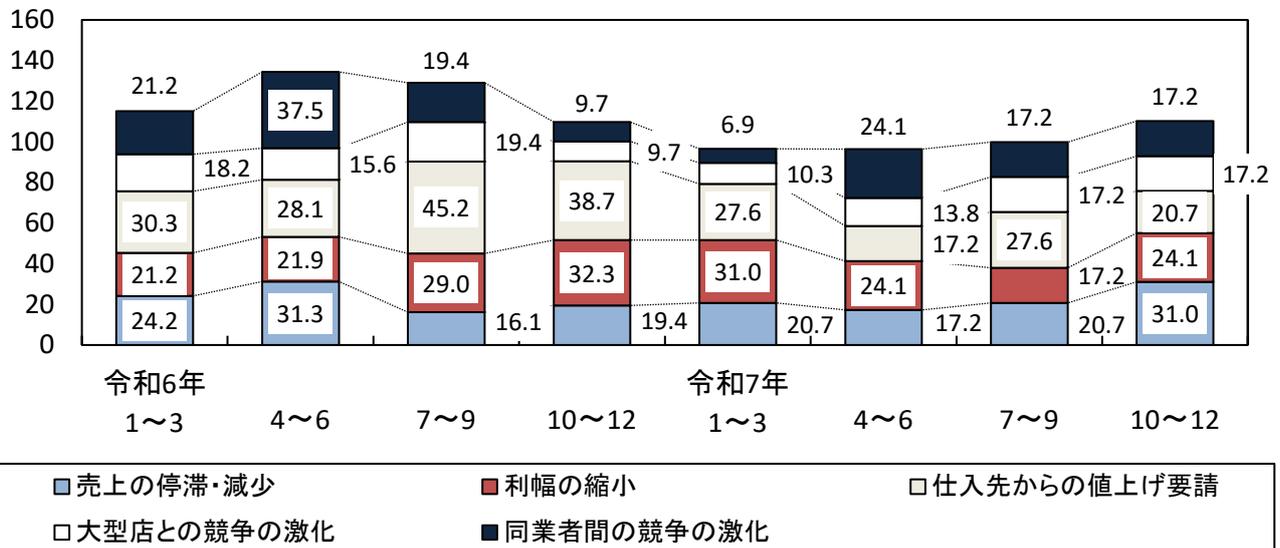
経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」で31.0%となった。次いで2位は「利幅の縮小」で24.1%、3位は「仕入先からの値上げ要請」で20.7%となった。以下、4位は「大型店との競争の激化」「同業者間の競争の激化」でともに17.2%、5位は「商店街の集客力の低下」「天候の不順」でともに13.8%となった。

重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で41.4%となった。次いで2位は「品揃えを改善する」で27.6%、3位は「売れ筋商品を取り扱う」「仕入先を開拓・選別する」でともに24.1%となった。以下、4位は「宣伝・広告を強化する」で17.2%、5位は「商店街事業を活性化させる」で10.3%となった。

業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

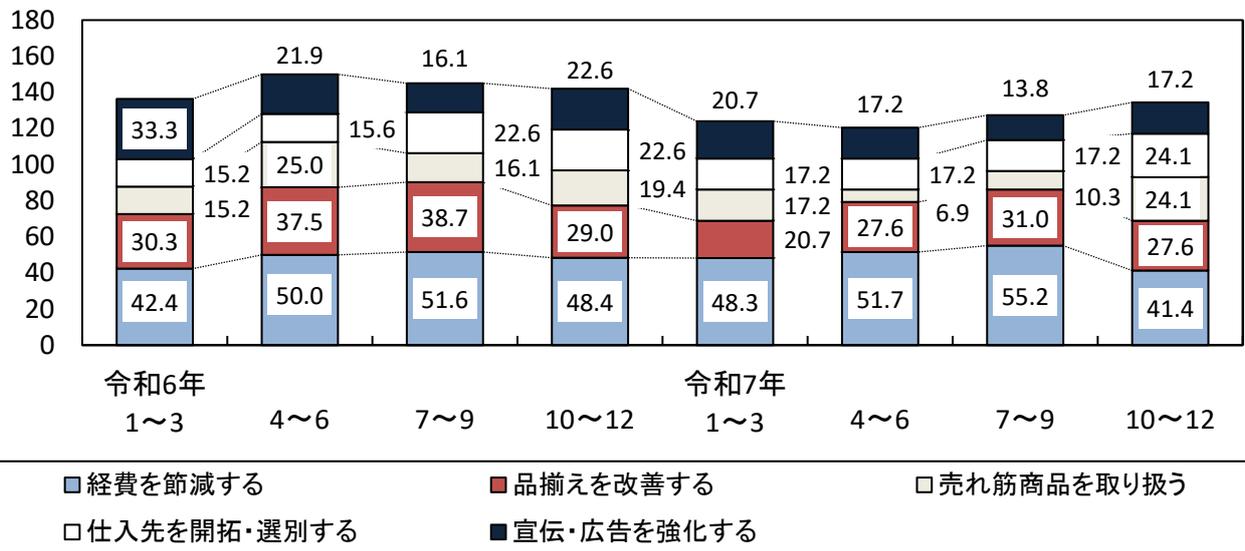


小売業 経営上の問題点 (%)



	令和7年1月～3月期	令和7年4月～6月期	令和7年7月～9月期	令和7年10月～12月期
第1位	利幅の縮小 31.0 %	利幅の縮小 24.1 % 同業者間の競争の激化 24.1 %	仕入先からの値上げ要請 27.6 %	売上の停滞・減少 31.0 %
第2位	仕入先からの値上げ要請 27.6 %	人件費の増加 17.2 % 仕入先からの値上げ要請 17.2 % 売上の停滞・減少 17.2 %	売上の停滞・減少 20.7 %	利幅の縮小 24.1 %
第3位	商店街の集客力の低下 20.7 % 売上の停滞・減少 20.7 %	大型店との競争の激化 13.8 %	利幅の縮小 17.2 % 大型店との競争の激化 17.2 % 同業者間の競争の激化 17.2 %	仕入先からの値上げ要請 20.7 %
第4位	人件費の増加 17.2 %	販売商品の不足 10.3 % 天候の不順 10.3 %	人件費の増加 13.8 % 天候の不順 13.8 %	大型店との競争の激化 17.2 % 同業者間の競争の激化 17.2 %
第5位	販売商品の不足 13.8 %	取扱商品の陳腐化 6.9 % 商店街の集客力の低下 6.9 % 店舗の狭小・老朽化 6.9 %	商店街の集客力の低下 10.3 %	商店街の集客力の低下 13.8 % 天候の不順 13.8 %

小 売 業 重 点 経 営 施 策 (%)



	令和7年1月～3月期	令和7年4月～6月期	令和7年7月～9月期	令和7年10月～12月期
第1位	経費を節減する 48.3 %	経費を節減する 51.7 %	経費を節減する 55.2 %	経費を節減する 41.4 %
第2位	宣伝・広告を強化する 20.7 % 品揃えを改善する 20.7 %	品揃えを改善する 27.6 %	品揃えを改善する 31.0 %	品揃えを改善する 27.6 %
第3位	売れ筋商品を取り扱う 17.2 % 仕入先を開拓・選別する 17.2 %	仕入先を開拓・選別する 17.2 % 宣伝・広告を強化する 17.2 %	仕入先を開拓・選別する 17.2 %	売れ筋商品を取り扱う 24.1 % 仕入先を開拓・選別する 24.1 %
第4位	店舗・設備を改装する 6.9 % 商店街事業を活性化させる 6.9 % 人材を確保する 6.9 %	商店街事業を活性化させる 6.9 % 売れ筋商品を取り扱う 6.9 %	宣伝・広告を強化する 13.8 %	宣伝・広告を強化する 17.2 %
第5位	新しい事業を始める 3.4 % 機械化を推進する 3.4 % 教育訓練を強化する 3.4 %	新しい事業を始める 3.4 % 機械化を推進する 3.4 % 人材を確保する 3.4 % パート化を図る 3.4 % 教育訓練を強化する 3.4 %	売れ筋商品を取り扱う 10.3 %	商店街事業を活性化させる 10.3 %

サービス業

業況・売上額・収益

サービス業の主要指標をみると、業況は $\Delta 13.3$ で前期比9.3ポイント減と大きく低調感が強まった。売上額は $\Delta 4.3$ で6.6ポイント減と増加から減少に転じ、収益は $\Delta 11.7$ で2.5ポイント増とやや減益幅が縮小した。来期の見通しについては、業況は厳しさがかなり和らぎ、売上額、収益はともに減少・減益幅が多少縮小する見込み。

価格・在庫動向

価格動向については、料金価格は27.4で6.5ポイント増と大幅に上昇傾向が強まり、材料価格は45.3で4.8ポイント増と幾分上昇幅が拡大した。来期の見通しについては、料金価格は若干上昇幅が縮小し、材料価格は上昇傾向がかなり弱まる見込み。

資金繰り・借入金・設備投資動向

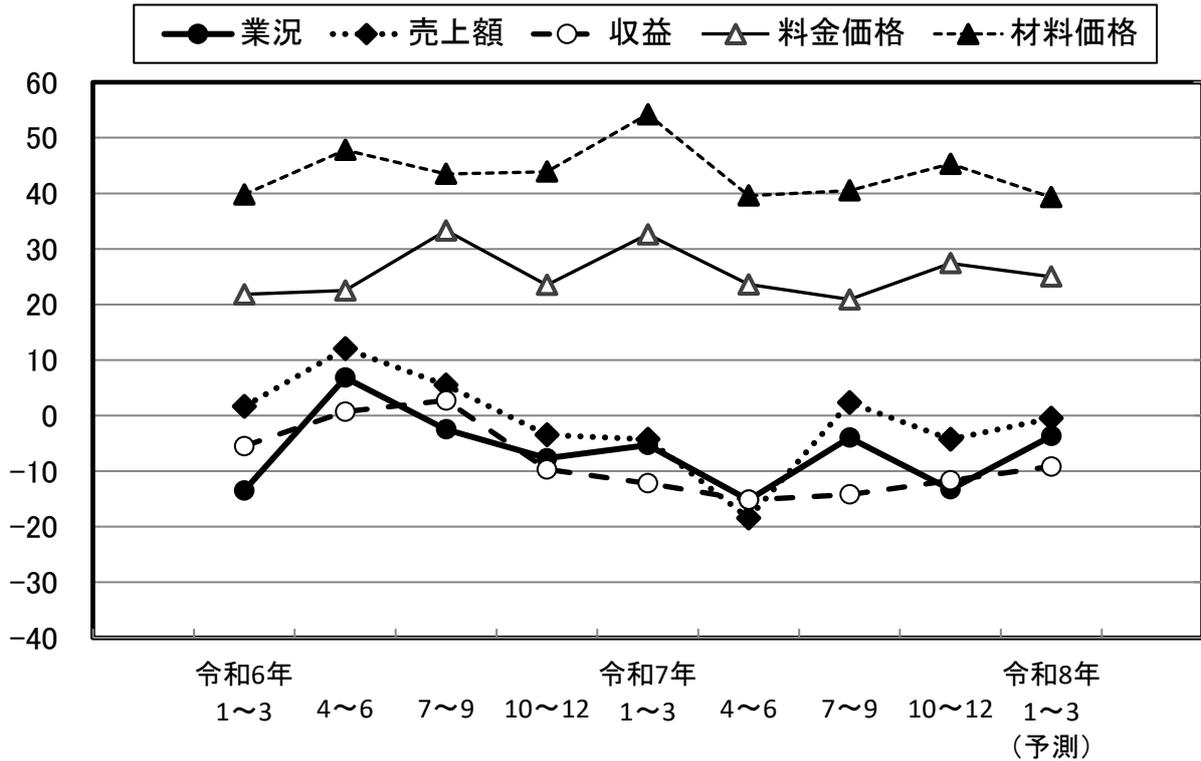
資金繰りは $\Delta 0.8$ で1.4ポイント減と前期同様となり、借入難易度は $\Delta 3.1$ で6.4ポイント減と厳しい状況に転じた。借入をした企業は22.5%で12.5ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は17.9%で0.4ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りは窮屈感がやや強まり、借入をする企業は大きく減少し、設備投資を実施する企業は今期並となる見込み。

経営上の問題点・重点経営施策

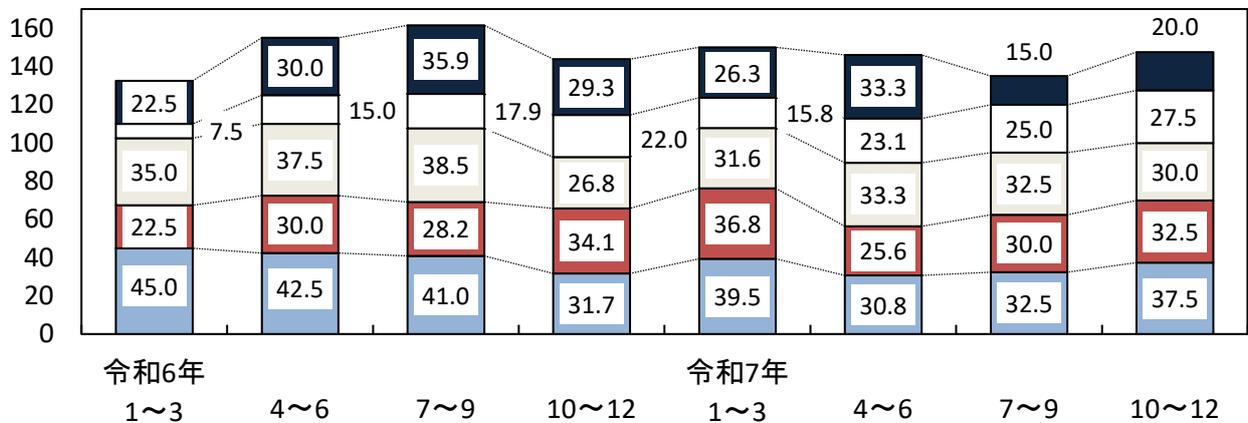
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」で37.5%となった。次いで2位は「材料価格の上昇」で32.5%、3位は「同業者間の競争の激化」で30.0%となった。以下、4位は「人件費の増加」で27.5%、5位は「人手不足」で20.0%となった。

重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で42.5%となった。次いで2位は「販路を広げる」で37.5%、3位は「人材を確保する」で27.5%となった。以下、4位は「宣伝・広告を強化する」で17.5%、5位は「店舗・設備を改装する」で12.5%となった。

業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測



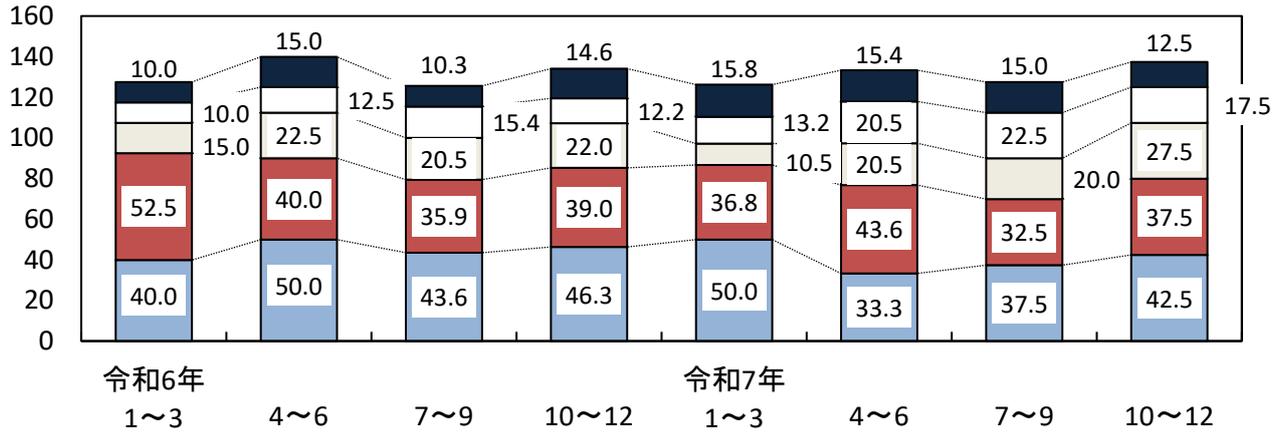
サービス業 経営上の問題点（％）



■ 売上上の停滞・減少 ■ 材料価格の上昇 □ 同業者間の競争の激化 □ 人件費の増加 ■ 人手不足

	令和7年1月～3月期	令和7年4月～6月期	令和7年7月～9月期	令和7年10月～12月期
第1位	売上上の停滞・減少 39.5 %	同業者間の競争の激化 33.3 % 人手不足 33.3 %	同業者間の競争の激化 32.5 % 売上上の停滞・減少 32.5 %	売上上の停滞・減少 37.5 %
第2位	材料価格の上昇 36.8 %	売上上の停滞・減少 30.8 %	材料価格の上昇 30.0 %	材料価格の上昇 32.5 %
第3位	同業者間の競争の激化 31.6 %	材料価格の上昇 25.6 %	人件費の増加 25.0 %	同業者間の競争の激化 30.0 %
第4位	人手不足 26.3 %	人件費の増加 23.1 %	利幅の縮小 17.5 %	人件費の増加 27.5 %
第5位	人件費の増加 15.8 % 利幅の縮小 15.8 %	利幅の縮小 17.9 %	人手不足 15.0 %	人手不足 20.0 %

サービス業 重点経営施策（％）



■経費を節減する ■販路を広げる □人材を確保する □宣伝・広告を強化する ■店舗・設備を改装する

	令和7年1月～3月期	令和7年4月～6月期	令和7年7月～9月期	令和7年10月～12月期
第1位	経費を節減する 50.0 %	販路を広げる 43.6 %	経費を節減する 37.5 %	経費を節減する 42.5 %
第2位	販路を広げる 36.8 %	経費を節減する 33.3 %	販路を広げる 32.5 %	販路を広げる 37.5 %
第3位	技術力を強化する 21.1 %	人材を確保する 20.5 % 宣伝・広告を強化する 20.5 %	宣伝・広告を強化する 22.5 %	人材を確保する 27.5 %
第4位	店舗・設備を改装する 15.8 %	店舗・設備を改装する 15.4 %	人材を確保する 20.0 %	宣伝・広告を強化する 17.5 %
第5位	宣伝・広告を強化する 13.2 %	提携先を見つける 10.3 % 技術力を強化する 10.3 % 教育訓練を強化する 10.3 %	店舗・設備を改装する 15.0 %	店舗・設備を改装する 12.5 %

建設業

業況・売上額・収益・受注残・施工高

建設業の主要指標をみると、業況は22.8で前期比2.9ポイント増とやや好調感が強まった。施工高は17.0で0.8ポイント減、収益は9.7で0.1ポイント減とともに前期並の増加・増益が続き、売上額は2.8で7.0ポイント減、受注残は5.1で6.2ポイント減とともに大きく増加幅が縮小した。来期の見通しについて、業況は好調感が多少後退する見込み。受注残は今期同様の増加が続き、売上額、施工高はともに多少後退し、収益は増加幅がかなり縮小する見通し。

価格・在庫動向

価格動向については、請負価格は34.0で1.9ポイント増、材料価格は61.0で5.1ポイント増とともに幾分上昇傾向が強まった。在庫は△3.1で1.2ポイント減と適正水準から不足となった。来期の見通しについては、請負価格、材料価格はともに上昇傾向が大きく弱まり、在庫は不足感がやや強まる見込み。

資金繰り・借入金・設備投資動向

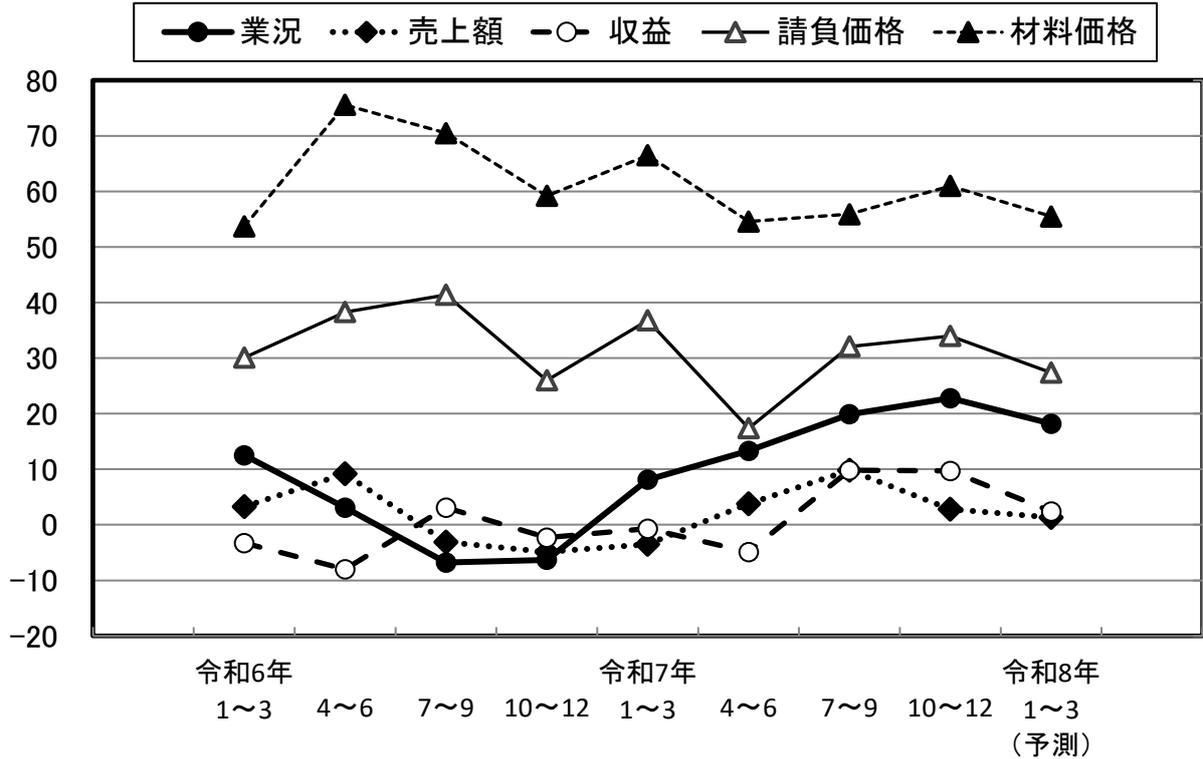
資金繰りは0.3で3.3ポイント減とわずかに容易さが縮小し、借入難易度は13.1で8.6ポイント増と大幅に容易さが増した。借入をした企業は27.6%で6.2ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は17.2%で4.2ポイント減少した。来期の見通しについては、資金繰りは容易さが若干増し、借入をする企業は大きく減少し、設備投資を実施する企業は今期同様となる見込み。

経営上の問題点・重点経営施策

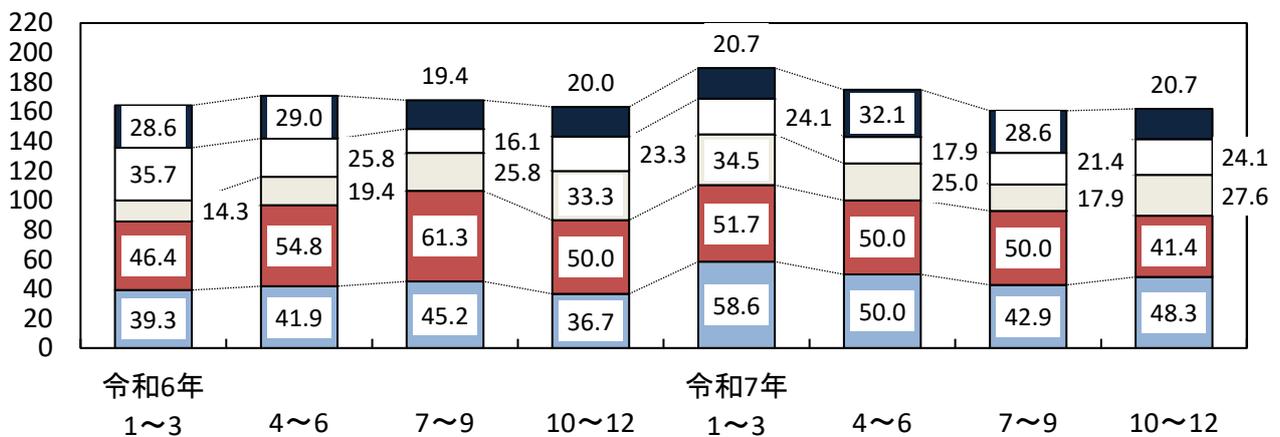
経営上の問題点は、1位は「人手不足」で48.3%となった。次いで2位は「材料価格の上昇」で41.4%、3位は「人件費の増加」で27.6%となった。以下、4位は「同業者間の競争の激化」で24.1%、5位は「売上の停滞・減少」で20.7%となった。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」で58.6%となった。次いで2位は「人材を確保する」で48.3%、3位は「販路を広げる」で41.4%となった。以下、4位は「労働条件を改善する」で17.2%、5位は「技術力を高める」「情報力を強化する」でともに10.3%となった。

業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測



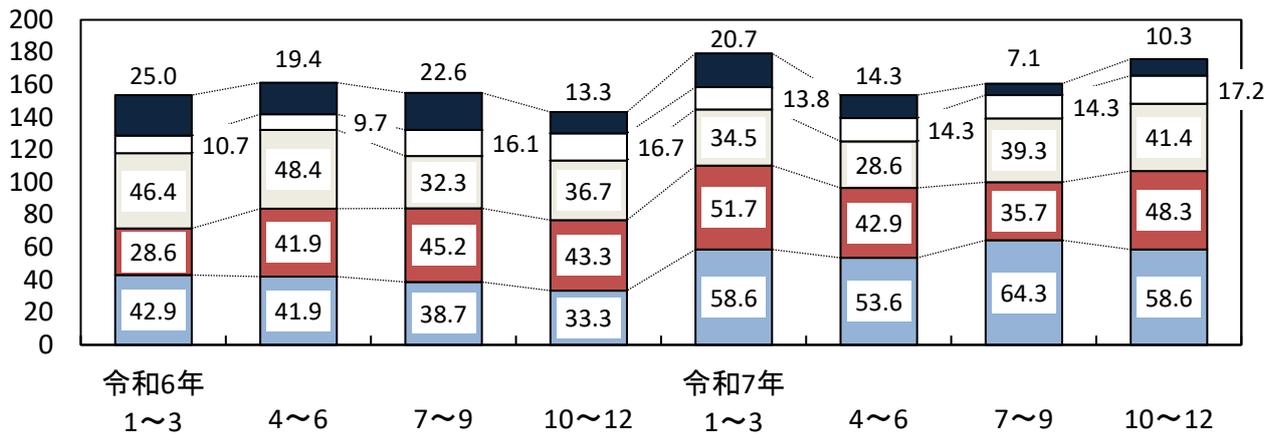
建設業 経営上の問題点（％）



■ 人手不足 ■ 材料価格の上昇 □ 人件費の増加 □ 同業者間の競争の激化 ■ 売上の停滞・減少

	令和7年1月～3月期	令和7年4月～6月期	令和7年7月～9月期	令和7年10月～12月期
第1位	人手不足 58.6 %	材料価格の上昇 50.0 % 人手不足 50.0 %	材料価格の上昇 50.0 %	人手不足 48.3 %
第2位	材料価格の上昇 51.7 %	売上の停滞・減少 32.1 %	人手不足 42.9 %	材料価格の上昇 41.4 %
第3位	人件費の増加 34.5 %	人件費の増加 25.0 %	売上の停滞・減少 28.6 %	人件費の増加 27.6 %
第4位	同業者間の競争の激化 24.1 %	同業者間の競争の激化 17.9 %	同業者間の競争の激化 21.4 %	同業者間の競争の激化 24.1 %
第5位	売上の停滞・減少 20.7 %	合理化の不足 7.1 % 利幅の縮小 7.1 % 下請の確保難 7.1 %	人件費の増加 17.9 %	売上の停滞・減少 20.7 %

建設業 重点経営施策（％）



■ 経費を節減する
 ■ 人材を確保する
 □ 販路を広げる
 □ 労働条件を改善する
 ■ 技術力を高める

	令和7年1月～3月期		令和7年4月～6月期		令和7年7月～9月期		令和7年10月～12月期	
第1位	経費を節減する	58.6 %	経費を節減する	53.6 %	経費を節減する	64.3 %	経費を節減する	58.6 %
第2位	人材を確保する	51.7 %	人材を確保する	42.9 %	販路を広げる	39.3 %	人材を確保する	48.3 %
第3位	販路を広げる	34.5 %	販路を広げる	28.6 %	人材を確保する	35.7 %	販路を広げる	41.4 %
第4位	技術力を高める	20.7 %	労働条件を改善する	14.3 %	労働条件を改善する	14.3 %	労働条件を改善する	17.2 %
			教育訓練を強化する	14.3 %				
			技術力を高める	14.3 %				
第5位	労働条件を改善する	13.8 %	情報力を強化する	7.1 %	教育訓練を強化する	10.7 %	技術力を高める	10.3 %
							情報力を強化する	10.3 %